

学校安全だより

災害安全 交通安全 生活安全

<ケータイ・スマホの約束>

小1～小3は夜8時～朝7時

小4～小6は夜9時～朝7時は親が預かりましょう。

令和5年6月15日
長瀬小学校
学校安全担当

下校時避難訓練を行いました

6月9日(金)に、下校時避難訓練を行いました。この訓練の目的は、「**下校時の地震・津波発生時の危険について理解し、その場で自分の命を守る行動がとれるようになること**」です。下校のグループは全部で8つで、それぞれのグループに担当の教員が付き添い、一緒に下校しながら、「**ここで大きな地震が起きたら?**」「**ここで津波注意報が発表されたら?**」どのように行動すれば良いのか、どこを目指して避難すれば良いのかについて考えさせ、指導しました。右の写真は、浜吉田西区の子供たちが、大きな地震が起きたときの第一次避難（ダンゴムシのポーズで頭を守る）をしている様子です。この時、次の3観点から今自分がいる場所の安全を確かめました。



- ①上からものが落ちてこないか
- ②近くに倒れてくるものがないか
- ③近くに移動してくるものがないか

長瀬小通学路で考えられる危険物は、ブロック塀、電信柱、道路標識、停車中の自動車、自動販売機、ゴミの集積所等です。

津波からの避難については、学校を出発してから数カ所で、「ここで津波注意報が発表されたら?」と考えさせ、今自分がいる地点によって避難できる場所が変わることを確認しました。

下に、行政区ごとの下校中考えられる避難場所をまとめました。今回の訓練では、下の**太字の場所**にそれぞれ避難しました。

行政区	考えられる下校途中の避難場所
浜吉田西・東・北・野地	小学校・吉田中学校・吉田交流センター*1・ 大谷地住宅
長瀬浜・大畑浜	小学校・ 常磐道避難階段
一本松	小学校・ 吉田中学校
開墾場	小学校
新丁	小学校 ※高い建物がないので、 西へ水平避難

*1 吉田交流センターは、東日本大震災の時、液状化現象が激しく危険だったため、町では一時避難場所にも指定していないそうです。職員もすぐにそこから避難します。入口の自動ドアは鍵をかけずに避難するのでも中に入ることはできますが、学校では、よほどの緊急時でない限りは交流センターへは避難しないように指導しています。

今回の訓練について、ご意見・ご要望等がありましたら、下の用紙に記入していただき学校まで提出をお願いします。今後の訓練に生かしていきたいと考えています。

..... 切り取り

行政区 () 児童氏名 ()

.....

.....

.....

子供たちと一緒に訓練に参加してくださった皆様、ありがとうございました。学校の教育活動の様子を実際に見ていただいたり、一緒に参加していただく場面を今後大切にしていきたいと考えています。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

【訓練の様子から】



訓練の前に、校長先生が45年前に起きた宮城県沖地震の様子と教訓について、写真を見せながら話してくださいました。



歩道を歩いている時に大きな地震が起きたら、電信柱や標識などがあるので、畑や宅地の庭などに避難した方が安全な場合もあることに気づきました。写真は、児童の自宅の庭を借りて一次避難している様子です。

【避難場所】

大谷地住宅3階



吉田中学校



常磐道避難階段

常磐道避難階段(左)は、NEXCO 東日本のご協力をいただき、階段の降ろし方を教えていただいたり、実際に階段の上の避難スペースに上がる体験をいたしました。子供たちも実際に階段を降ろす体験をさせていただきました。身長が150cm以上あれば、階段を降ろすことができるそうです。避難階段は、同じものが浜吉田西区にも設置されています。